



いずみ

令和5年11月30日発行

<学校教育目標>
かしこい子
やさしい子
たくましい子



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

子供たちの輝き

校長 鷲見 真太郎

令和5年度の学習発表会を11月11日(土)に、無事終えることができました。1・4年生が図工作品展示、2・5年生が音楽発表、3・6年生が舞台発表という今の形にして3年。「来年はあれをやるんだ。」「来年はあれをやってみたい。」といった声が、子供たちからも数多く聞かれるようになりました。図工や音楽も含めた、多様な表現の形にしたことで、より多くの子供たちが活躍できる行事に近づいてきたと感じています。

さらに今年度は運動会同様、「子供たち自身が作る行事」として、子供たちの活躍の場を広げました。まずは係活動。各委員会で話し合い、代表委員会はスローガンづくり、放送委員会は昼の放送で各学年の発表の紹介特集、図書委員会は感想コメントブース作成(体育館後方に掲示していた、スイミーを模してひとこと感想の付箋を貼ったものです)、集会委員会は体育館入口の飾りつけ、理科栽培委員会は体育館周りの雑草抜きなど、学習発表会のために自分たちに何ができるかを考え、行動しました。

発表内容においても、子供たちが主体とした取組を進めてきました。4年生は実行委員たちが作品制作の様子や画像や映像をSwayで編集したり(二次元コードにてご覧いただいたものです)、3年生・6年生は、詩や台詞、振り付けなどを子供たちで考えたりして進めました。子供たちに任せることで、子供たちの発想が表現の中心となり、その分さらに子供たちの輝きが増したように思います。

人前で表現することはあまり得意でなかった6年生のある児童は、自分の考えた台詞をぜひ言いたいと立候補し、堂々と立派に表現できるようになりました。様々な学年で同様のエピソードや子供たちの姿を見聞きし、私自身もたいへん感動し、幸せな気持ちになりました。

運動会や学習発表会は、教科・領域では特別活動に分類されます。特別活動で最も大切なことは、子供たちが主体となり、何ができるのかを自分事として考え、自ら活動を進めていくことです。本校では今後もさらに子供たちに任せる部分を増やしていき、「自分たちで作る和泉小学校」という意識につなげていきます。

- ・12月10日より図工の小野美里教諭が産休に入ります。後任が決まるまで図工は担任が指導します。
- ・12月15日より生稲彩主任教諭が産休に入ります。2年1組の担任は算数少人数指導の堀口剛主幹教諭が入ります。現在後任の算数少人数指導の講師を探しており、決まるまで3年生はクラス算数になります。それぞれの担当が決まり次第お知らせします。

12月の生活目標

学校をきれいにしよう

- すみずみまできれいに掃除をする
- 自分の物や教室の物を整理整頓する

12月の安全指導

火遊びをしない・冬休みの過ごし方

- 冬になると子供たちは「火」に関心を持ちます。令和4年の火災件数は3953件でした。軽い気持ちの行動が大きな火災へとつながります。冬休みの過ごし方とともに、火の扱いについてご家庭でも話してください。